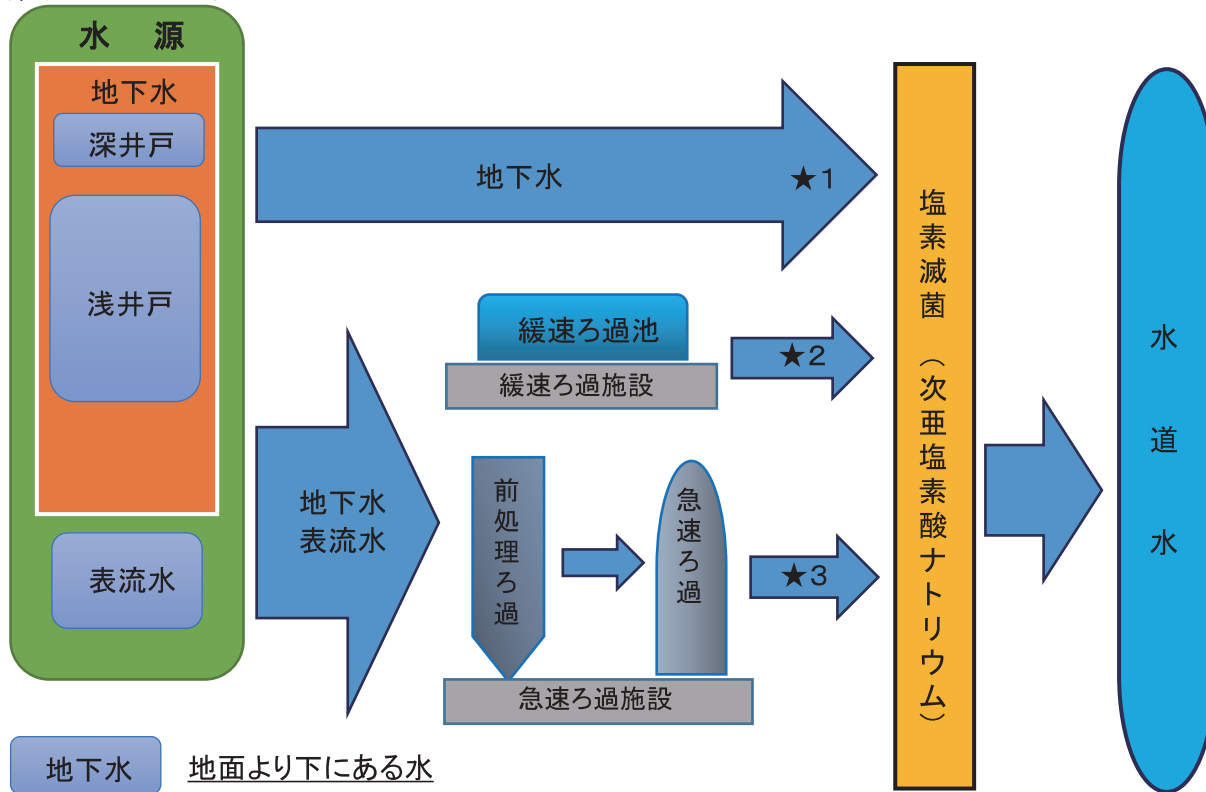


## 5. 関市の浄水処理方法

◎浄水処理フロー図



地下水 地面より下にある水

深井戸 地下の水を通さない地層(岩盤等)の下を流れる水を汲む井戸

浅井戸 井戸の深さが浅く、地下の水を通さない地層(岩盤等)の上を流れる水を汲む井戸

表流水 河川の表面を流れている水

◎浄水処理の方法

**★1 塩素滅菌のみ(地下水を使用)**

井戸を掘りきれいな地下水をくみ上げ、塩素(次亜塩素酸ナトリウム)を注入して消毒し水道水とします。

施設: 小瀬水源地、白金水源地、広見水源地、東志摩水源地、白金第2水源地、武芸川水源地  
洞戸通元寺取水井、洞戸出合取水井、板取大知摩取水井、武儀下岩水源地

**★2 緩速ろ過+塩素滅菌(地下水、表流水を利用)**

地下水、表流水を砂を入れた槽に入れ、ろ過した水に塩素(次亜塩素酸ナトリウム)を注入して消毒し水道水を作ります。ろ過の過程では、薬品を使用しない利点がありますが、一日に作れる水道水の量が少ないため、大量の水道水を作るには大きく広い面積のろ過槽が必要となります。

施設: 武芸川寺尾浄水場、洞戸北浄水場、洞戸小瀬見浄水場

**★3 急速ろ過+塩素滅菌(地下水、表流水を利用)**

地下水、表流水を比較的粗い砂や砂利を使って水中の不純物をろ過する方法で、ろ過をする前に凝集剤という薬品を使い、不純物を凝集させて、ろ過し、ろ過した水に塩素(次亜塩素酸ナトリウム)を注入して消毒し水道水を作ります。短時間で大量の水道水を作ることができ、設置面積も小さくなりますが、緩速ろ過に比べて施設が複雑で管理が難しくコストも高くなります。

施設: 板取白谷浄水場、板取南部浄水場、板取岩本浄水場、板取三友浄水場、板取中切浄水場  
板取二共浄水場